

2020年卒
Vol.07

5月1日時点の就職活動調査 <速報>

キャリアス就活 2020 学生モニター調査結果 (2019年5月発行)

企業の採用広報開始から2カ月。学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、選考解禁前にもかかわらず、内定率は5割を超えていることがわかった。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 5月1日時点の内定状況

- 内定率は51.1%。4月時点(26.4%)より24.7ポイント上昇
- 前年同期実績(42.2%)を8.9ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の21.8%。前年(14.2%)を7.6ポイント上回る

2. 内定を得た企業の従業員規模

- 1,000人以上の大手企業からの内定が6割(60.9%)を占める
- 内定保持者の今後の方針は「内定企業よりも大きい企業を中心に活動」が過半数(52.0%)

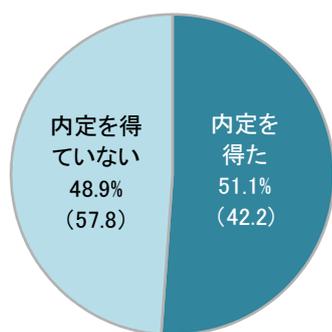
1. 5月1日時点の内定状況

採用広報開始から2カ月が経過し、内定を手にする学生は一気に増えた。

5月1日現在の内定率は51.1%。先月調査(26.4%)からの1カ月で24.7ポイント上昇し、半数を超えた。前年同期実績(42.2%)に比べ8.9ポイント高い。大型連休を前に内定を出した企業が多く、高水準の内定率につながったようだ。なお、選考解禁日が現行の6月1日になった初年度(2017卒採用)は5月の内定率は29.1%だった。この3年で内定出しの早期化が進んだ様子が見て取れる。(グラフは次ページ)

内定率は5割を超えるものの、内定者の6割近く(57.3%)が就職活動を継続していると回答しており、未内定者とあわせて全体の約8割が活動中となる。内定の有無によらず多くの学生にとって、やはり6月が正念場になりそうだ。

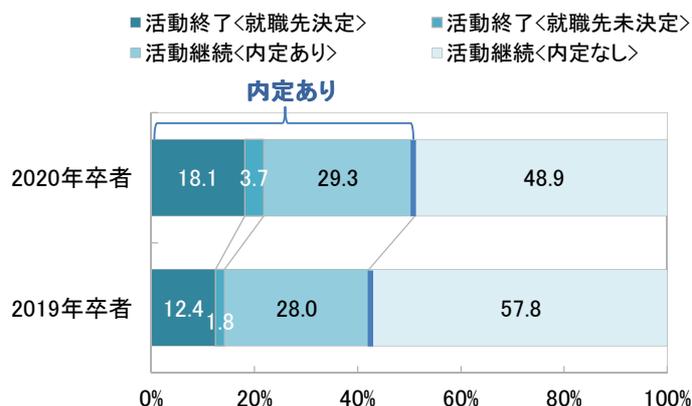
<5月1日現在の内定状況>

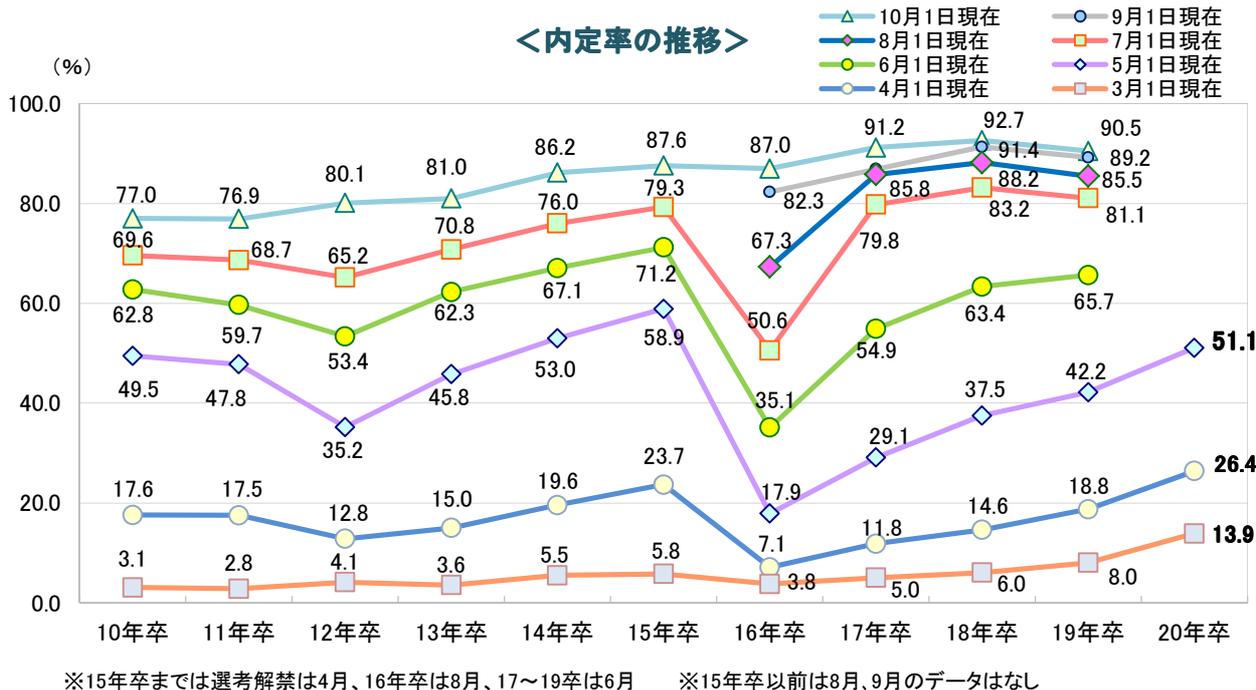


*「内定」には、内々定を含む

※()内は2018年の同調査での5月現在の数値

<5月1日現在の活動状況の分布>



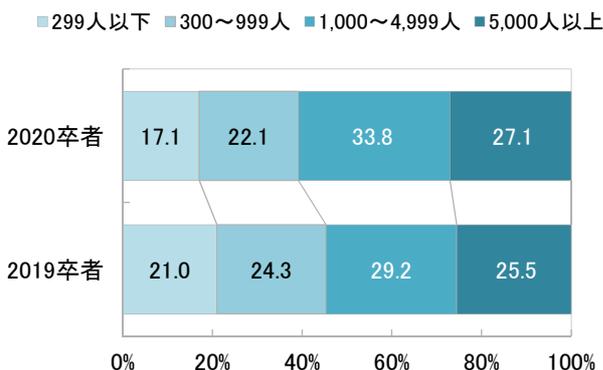


2. 内定を得た企業の従業員規模

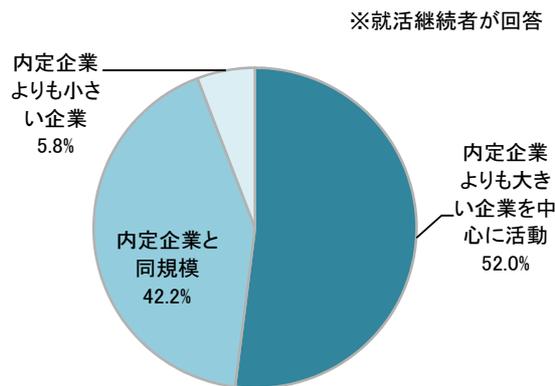
内定を得た企業の従業員規模の比率を算出し、前年同期調査と比較してみた。最も多いのは「1,000人～4,999人」(33.8%)で、「5,000人以上」(27.1%)を合わせると60.9%となり、大手企業の内定が6割を占める。前年同期調査(計54.7%)よりさらに大手企業の占める比率が増えた。

また、内定者のうち就職活動継続者に、就職活動の中心としている企業規模を内定保持企業と比較してもらった。「内定企業よりも大きい企業を中心に活動」が半数を超えており(52.0%)、より大手の企業の内定を狙っている学生が少なくないことがわかる。

＜内定を得た企業の従業員規模＞



＜内定保持者の今後の活動方針＞



調査概要

- 調査対象 : 2020年3月に卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数 : 1,293人(文系男子419人、文系女子392人、理系男子339人、理系女子143人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2019年5月1日～6日
- サンプリング : キャリタス就活2020学生モニター(2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」)